資料６

県央の地域特性

<table>
<tr><td rowspan="3">基本的事項</td><td colspan="3">＜人口推計＞（参考資料６の５頁）
・2010 年 84.4 万人から 2025 年は 82.9 万人（▲1.5 万人、▲1.8%）、2040 年は 75.3 万人（▲9.1 万人、▲10.8%）。
・75 歳以上の人口は、2010 年と比較して 2025 年は約 2.2 倍、2040 年は約２倍とやや減少。</td></tr>
<tr><td>＜患者推計＞
（参考資料６の５頁、10 頁）
・2010 年と比較して 2025 年の患者数は 1.41 倍。2040 年は 1.44 倍。
・65 歳未満の患者は減少。
・ピークは 2035 年。</td><td>＜2025 年の必要病床数の状況＞
（参考資料６の 11 頁）
・一般病床：医療機関所在地、患者所在地いずれも 2025 年に向けて不足。
・療養病床：医療機関所在地、患者所在地いずれも 2025 年に向けて不足。</td><td>＜2025 年の在宅医療等の状況＞
（参考資料６の 56 頁）
・患者所在地：10,525.1 人/日
（現行と比較して 54.2%増）
（うち、在宅医療訪問診療患者は 6,607.2 人で 62.8%）。</td></tr>
<tr><td colspan="3">＜病院配置状況等＞（参考資料６の 13～15 頁）
・東部に多い。MDC 別の疾患は概ね網羅している。</td></tr>
<tr><td>入院基本料</td><td>＜7：1、10：1＞
（参考資料６の 17、20 頁）
・自己完結率は 79.07%（県内６位）。
・レセプト出現比は 83.6%。</td><td>＜回復期リハ等＞
（参考資料６の 18、20 頁）
・自己完結率は 80.70％（県内２位）。流入超過。
・レセプト出現比は 94.4%。</td><td>＜療養＞
（参考資料６の 19、20 頁）
・自己完結率は 53.16%（県内８位）。相模原に 26.8%流出。
・レセプト出現比は 73.1%。</td></tr>
<tr><td>疾患別</td><td>＜がん＞
（参考資料６の７頁、29～38 頁）
・2025 年患者数は全体的に増加するが、特に、肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、すい臓がん、前立腺がんの増加率が高い。
・胃がん、大腸がんの自己完結率は６割を超えているが、全体的に自己完結率は低い。流出先は相模原、湘南西部が多い。放射線治療（入院）は 19.49%。</td><td>＜急性心筋梗塞＞
（参考資料６の８頁、40～41 頁）
・2025 年患者数は 2010 年と比較して多くはないが 1.45 倍になる。
・自己完結率は 76.42％（県内７位）。やや流出超過。
・虚血性心疾患及び狭心症に対する心臓血管手術は全国平均を大きく上回る。</td><td>＜脳卒中＞
（参考資料６の８頁、43～46 頁）
・脳梗塞の１日当たり患者数は 2010 年 502 人が 2025 年 906 人（+404 人、1.8 倍）。
・くも膜下出血の自己完結率は 59.07%。相模原に 18%、湘南西部 16%それぞれ流出している。
・脳出血の自己完結率は 63.17%。流出入は拮抗しているが、相模原に 15.47%流出。</td></tr>
</table>

救急医療	**＜自己完結等＞**（参考資料６の 22～25 頁） ・現在、三次救急医療機関は存在しないが、29 年４月に 20 床指定される見込み。 ・二次救急患者の 80.95%が自己完結。流出入は拮抗している。 ・救急搬送（夜間休日救急搬送（入院・外来））のレセプト出現数は全国平均を上回っているが、救急搬送（入院）のレセプト出現数は少ない。 **＜搬送体制等＞**（参考資料６の 26～27 頁） ・救急患者の消防による搬送件数は年々増加している。また、市町村間における搬送患者に占める重症、中等症、軽症の割合に大きな差異はない（概ね、重症７～８％、中等症４０％、軽症５０％）。 ・県央全体のＩＣＵ１床あたりの人口は約３万人で、県全体の約２万人を大きく上回っている。 ・座間綾瀬地区の二次救急については、これまで座間市、綾瀬市に加え、厚木市、海老名市、大和市の救急医療機関の協力を得て対応してきたが、28 年４月の座間総合病院開設、29 年４月の三次救急の指定等を踏まえて、28 年度からは座間市、綾瀬市、海老名市の救急医療機関により対応することになった。
在宅医療等	**＜医療資源等＞**（参考資料６の 58～59 頁） ・在宅医療関係の医療資源は、多くの項目で県平均を下回っているが、看取りを実施している診療所は県平均を上回っている。 ・訪問薬剤指導、病院従事者による退院前患者訪問は、全国平均を大きく上回っている。
医療従事者	**＜医療資源等＞**（参考資料６の 60～61 頁） ・病院に勤務する理学療法士数及び作業療法士数は、県平均を上回っているが、医療施設に従事する医師数、歯科医師数、看護師数等については、いずれも県平均を下回っている。